

奥能登豪雨による堆積土砂等の撤去について



- 道路・河川・農地や宅地内に堆積した土砂・流木・がれきについて、「建設事業者等」と「災害ボランティア」の連携体制を構築し、早期撤去を進め、生活やなりわいの早期再建につなげる

道路・河川・農地など

建設事業者等の応援も得ながら、国の一括処理スキームを活用し、面的な撤去を実施



可能なエリアから
順次実施中

個人の宅地など

被災家屋が多数に及ぶことから、より多くのボランティアのご協力を得て、泥出し作業を加速



※ 個人宅前から仮置場等までの運搬は、建設事業者等が実施していく

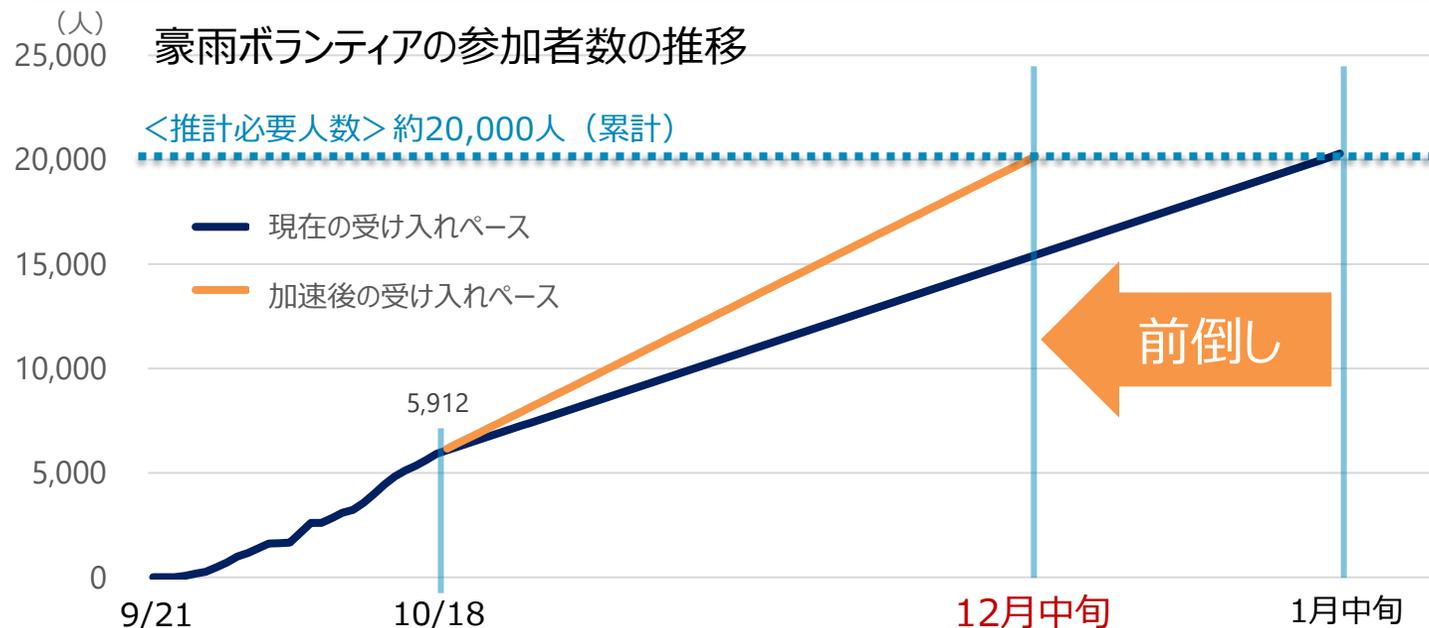
石川県災害対策ボランティア本部 076(225)1365
農林水産部農業基盤課 076(225)1635
土木部都市計画課 076(225)1755

宅地内の泥出しの加速化に向けたボランティアの受け入れ拡大



- 奥能登豪雨の発生後、多くの災害ボランティアによる泥出しなどの活動を実施
→ 県・市町募集ボランティアの活動状況 延べ 5,912人 (9/21~10/18)
- 市町から聞き取った被害状況などに基づく県の試算では、宅地内の泥出しのため、今後、さらに 約1.4万人 (推計) のボランティアが必要

○ 現在の受入ペースでは1月中旬までかかる見込みだが、本格的な積雪時期が始まる12月中旬までに泥出しを終えるため、ボランティアの受け入れを拡大



<災害ボランティアによる支援のニーズの試算>

- ① 市町から聞き取った泥出しが必要な宅地の件数
⇒ 約2,600件 (公費解体する家屋等を除く)
- ② ①のうちボランティアの支援ニーズを約7割と想定
⇒ 約1,800件
- ③ ②のうち専門ボランティアによる支援分 約2割を除く
⇒ 約1,500件
- ④ 1件あたりの必要人数を14人と想定 ⇒ **累計 約2万人**

（1）企業・団体によるボランティア参加の相談窓口の設置(11/1～)

【相談窓口】 県災害対策ボランティア本部 076-225-1367（平日9～17時）

＜相談内容の例＞

「いつ、どこで活動できるか教えてほしい」 「まとめて活動可能か教えてほしい」
「現地で借りられる資機材を教えてほしい」 「現地に駐車スペースがあるか教えてほしい」 など

※ ご協力いただいた企業・団体を、県公式サイトで紹介します。

＜これまでご参加いただいた企業・団体＞ ※地震含む

イオン、サントリー、JTB、トヨタ自動車、パナソニック、
日野自動車、北陸電力、丸紅、ロイヤルホールディングス
コープいしかわ、連合石川 など

～ ご協力ありがとうございます ～



（2）県職員についても、ボランティア休暇を活用した積極的な参加を呼びかける。

災害ボランティアの参加促進に向けた取り組み



石川県災害対策ボランティア本部 076(225)1365

- (3) 大学コンソーシアム石川 (県内21大学等) を通じて、現在、
学生・教職員のボランティアを募集中

【活動予定日】 ① 11月23日 (土) ② 11月24日 (日)
③ 11月30日 (土) ④ 12月 1日 (日)

- (4) 市町役場発着のボランティアバスの運行

【運行予定日】 ① 野々市市 11月4日 (月・祝) ② 能美市 11月16日 (土)

※11月2日 (土) 運行予定の加賀市発着バスは荒天予想のため中止 (現在、別日程調整中)

※運行済み 小松市 10月14日 (月・祝) 白山市 10月20日 (日)

上記のほか、個人でのボランティア参加者も特設サイトで募集中
(輪島市、珠洲市、能登町)

※ 特に平日のボランティアが不足しています。



石川県災害ボランティア特設サイト

多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催



- 北陸デスティネーションキャンペーン期間中の**10月から12月にかけて、クラフト(CRAFT×FOOD)2024**として、「**工芸と食**」に係る多彩なイベントを集中展開
- **今月、中核をなす「第41回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」を本県で開催**
(H24に続き4回目の開催、京都府と並び最多)

記念式典・伝統工芸士大会

11/7(木)

小松市團十郎芸術劇場うらら
大臣表彰(伝統産業功労者表彰)ほか



工芸の底力・復興の翼
石川から未来につなぐ、日本の美技

第41回伝統的工芸品月間国民会議全国大会

KOUGEI EXPO
IN ISHIKAWA

一般公開イベント

11/8(金)~10(日)

石川県を含む全国から76産地の伝統的工芸品が集結！

- ・**伝統的工芸品の実演・体験 (TEWAZA LIVE)**
金沢21世紀美術館、県立歴史博物館
- ・**伝統的工芸品の展示・販売 (CRAFT MARKET)**
しいのき迎賓館
- ・**卓越した技を誇る伝統工芸士の作品展 (日本伝統工芸士会作品展)**
金沢21世紀美術館
- ・**輪島漆芸技術研修所や九谷焼技術研修所、山中漆器産業技術センター、珠洲市陶芸センターの研修生、卒業生による作品の展示・販売**
金沢中央観光案内所



伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催



- 全国大会の開催にあわせて、
特別展「食を彩る工芸」や文化人を招いた食談義の開催などにより、食文化の魅力を発信するとともに、被災産地の復興応援イベントも開催することで、能登の復興を後押し

【全国大会にあわせた食文化の魅力発信】

特別展「食を彩る工芸」 **満喫！**



11/9(土)～12/8(日) 県立美術館

- ・美術館だけでなく、料亭や旅館が所蔵する工芸作品と合わせて展示し、石川の文化の厚みを紹介
- ・次代を担う実力派工芸作家8名が「食を彩る工芸」をモチーフに制作した力作を展示

工芸の文化人を招いた食談義 **堪能！**

10月～12月

金沢市、加賀市、小松市

- ・工芸に関する文化人の逸話を聞きながら伝統的工芸品の器で加賀料理を味わう



【復興応援企画】 **応援！**

いしかわ伝統工芸・応援フェア

11/8(金)～10(日) 金沢駅地下広場

- ・輪島塗や珠洲焼など被災産地の伝統的工芸品の展示販売

被災産地の器や食材を使った特別ランチ

10月～12月 金沢市内ホテル

- ・被災産地の食材と伝統的工芸品の器を使用したランチの提供



詳しくはHPより▼



小松空港 上海便の増便



- 小松空港の国際線は、3路線すべてで、4月以降の搭乗率が7割超と堅調に推移
- 上海便については、中国東方航空に働きかけた結果、12月20日（金）から週4便に増便となる見込み

	R 1 (コロナ前)	現在	12/20~
上海便 (中国東方航空)	週6便	週2便 (日・木)	→ 週4便 (日・月・木・金)
ソウル便 (大韓航空)	週3便	週3便 (火・木・土)	
台北便	週7便	週9便	
うちエバー航空	週5便	週7便 (毎日)	
うちタイガーエア台湾	週2便	週2便 (日・木)	



・上海便就航20周年とあわせ、小松空港で記念式典を開催(12/20)